
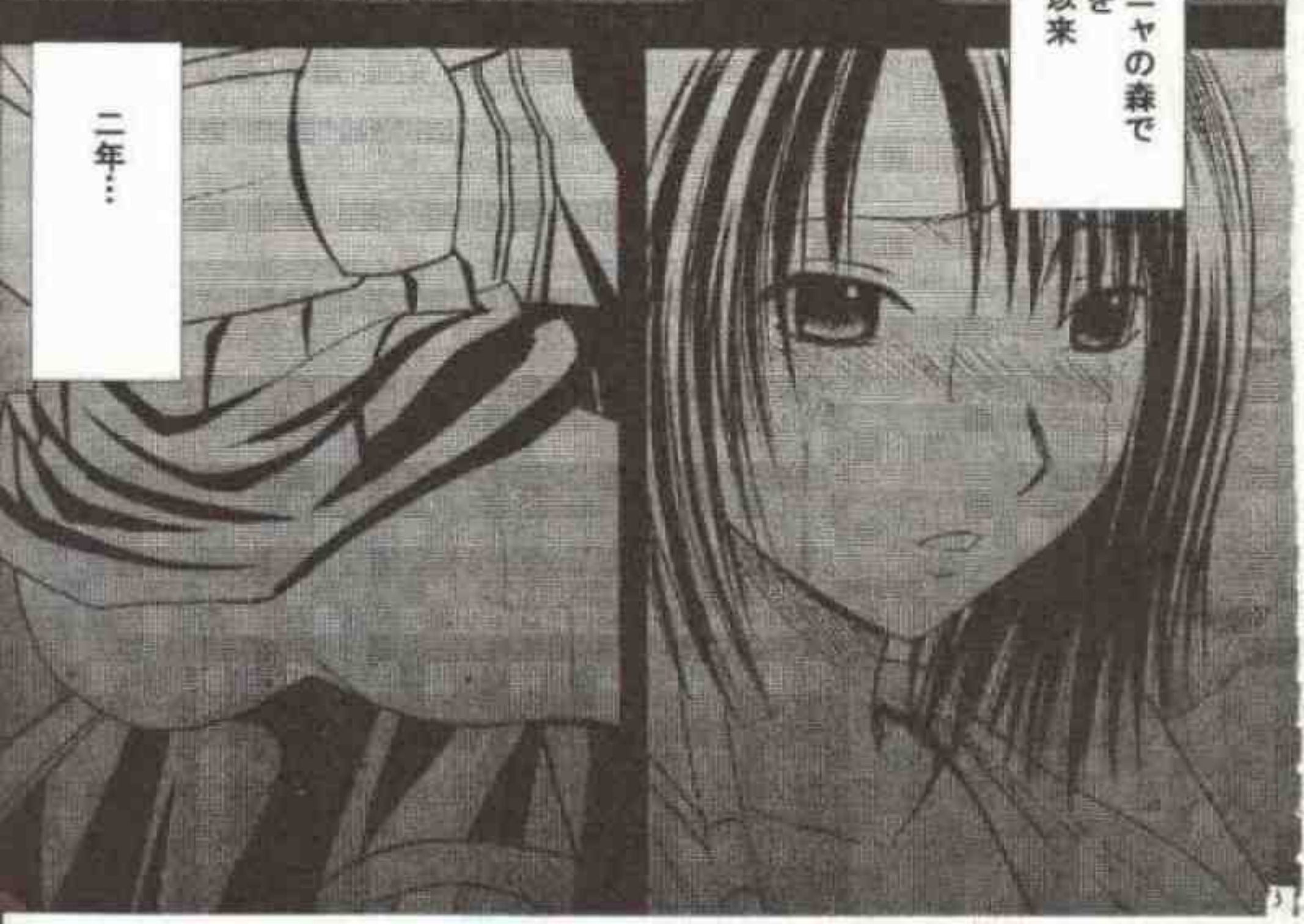


アサヒ





あの日…



マカラーニヤの森で  
キミと肌を  
あわせて以来

二年…

あれから  
私の体は……

誰にも……



# 消えゆく美しき思い出

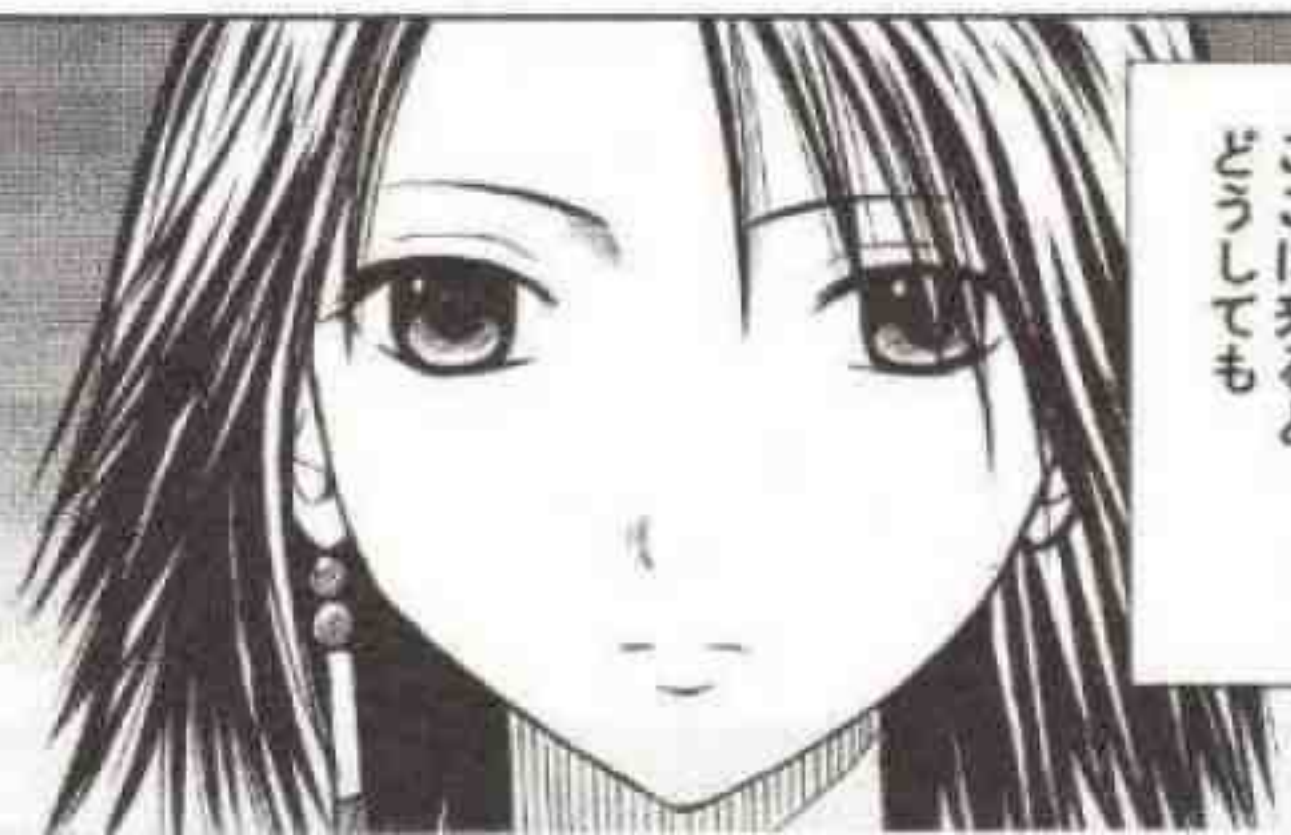
作 / カーマイン

マカラーニヤ湖  
……



ここに来ると  
どうしてでも

キミの「ユキ」  
思い出す





キミと

たった一度  
だけの…

ちびっころよ

私……

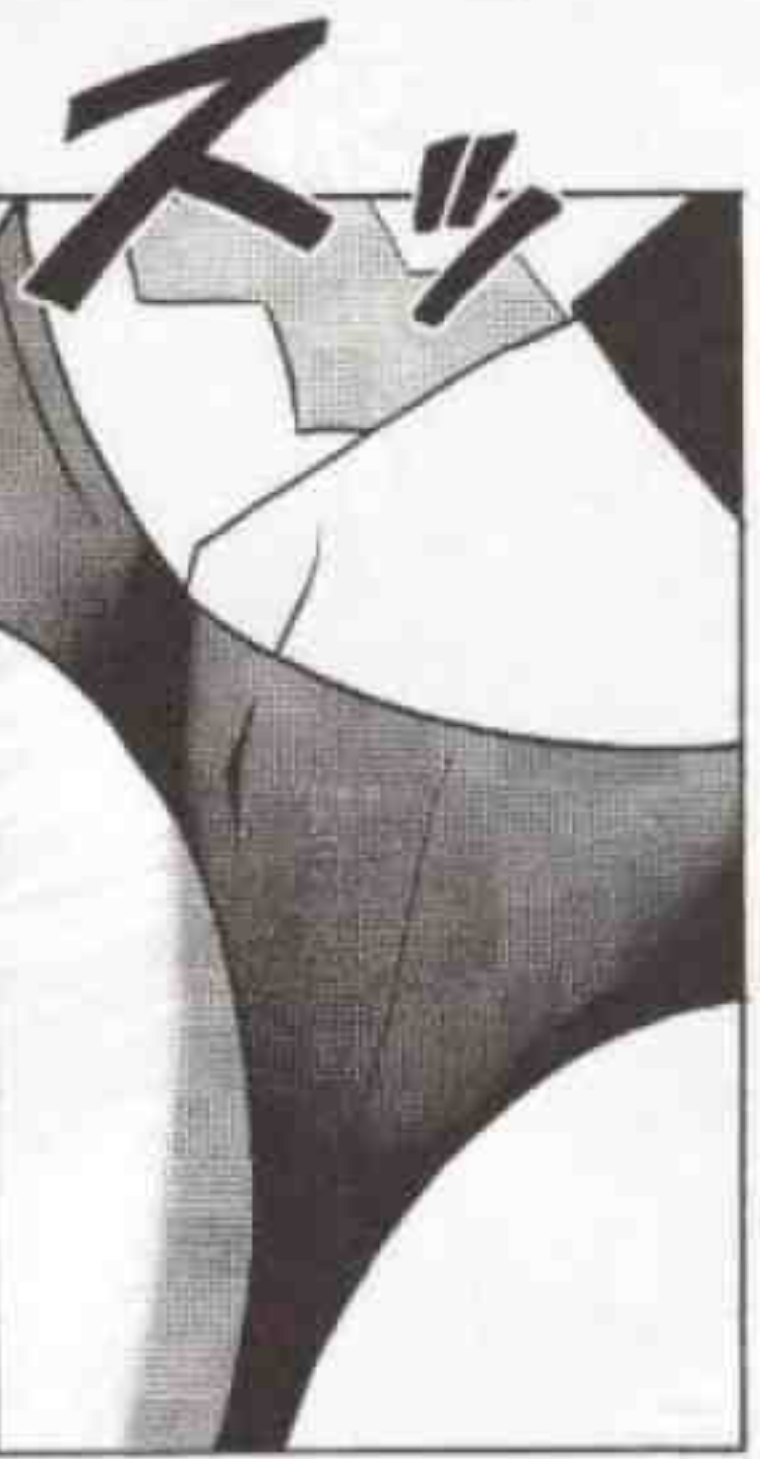
私まだ

あのときのこと  
思い出すだけで……

スツ

びくっ

……!



キミの指  
だつたら...

くちゅ



ああ……  
テイーダ……

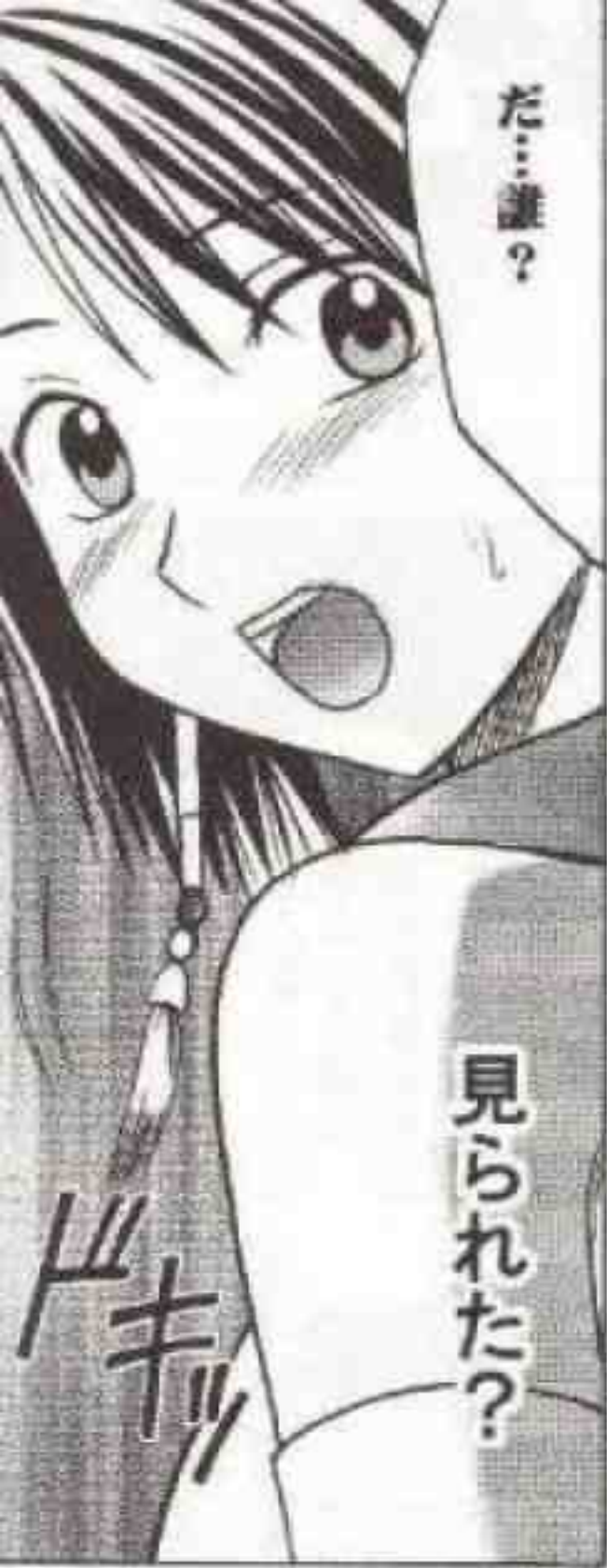
ぶる  
ぶる

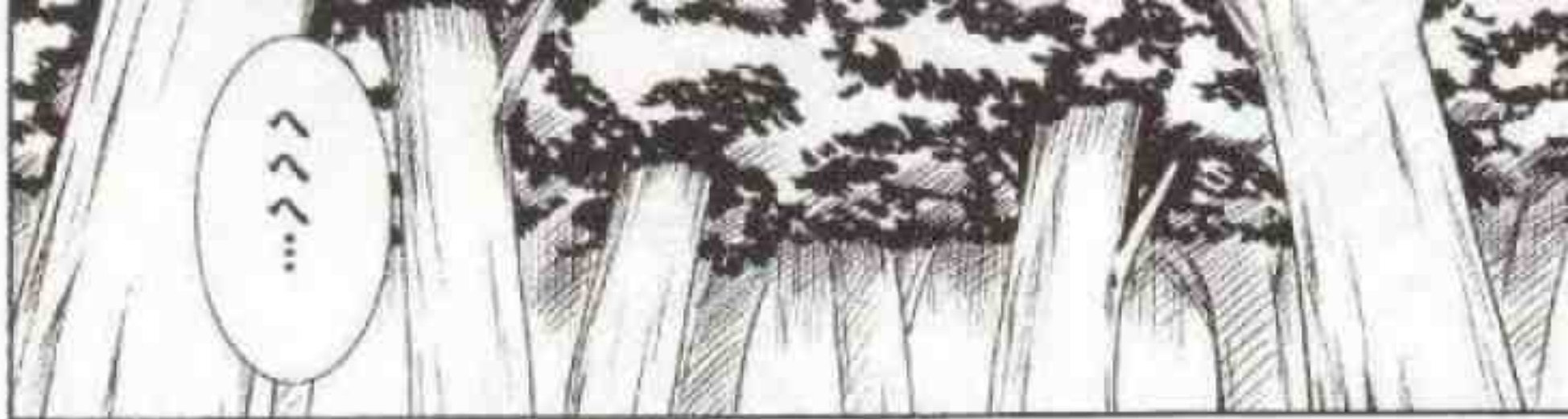
テイーダ……

くちゅ

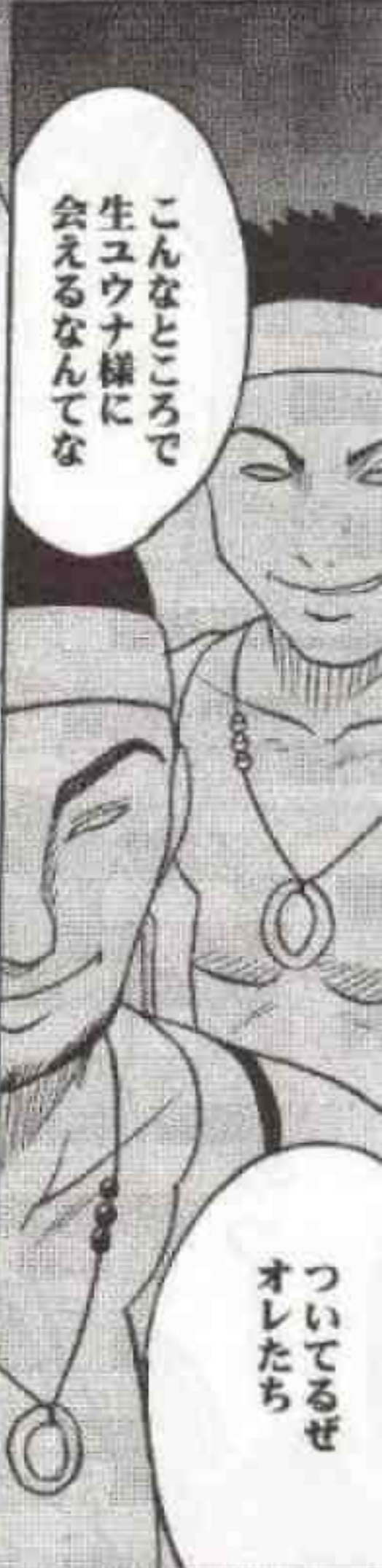
くちゅ







くくくく...  
くくくく...



こんなところで  
生ユウナ様に  
会えるなんてな

ついてるぜ  
オレたち

な...何ですか  
あなたたち

自慰なんか  
してたから  
完全に  
油断していた...!



大召喚士の  
ユウナさまが  
こんなところで  
何してるんですか？

どうでしょう  
武器もなにも  
もってきてない…



オツバイも  
見えそう  
ですよ！

やっ！



しかも  
こんなやらしい  
格好で…

きやっ！

さわ



な…何を  
するんですか！  
やめて  
ください…！

ギ  
ギ  
ギ  
ギ



ぐぐぐ  
ぐぐぐぐぐぐぐぐぐ

ギ  
ギ  
ギ

ギ  
ギ  
ギ  
ギ

さわ  
さわ

さわ  
さわ

あ…！



何  
言ってやがる

やめるわけ  
ねえだろう？

ユウナ様には  
この日な体で  
たつぷりと  
お返しをして  
もらわないと

ギシ

オレら全員  
ユウナ様には  
恨みをもって  
いるんだぜ！

やっー

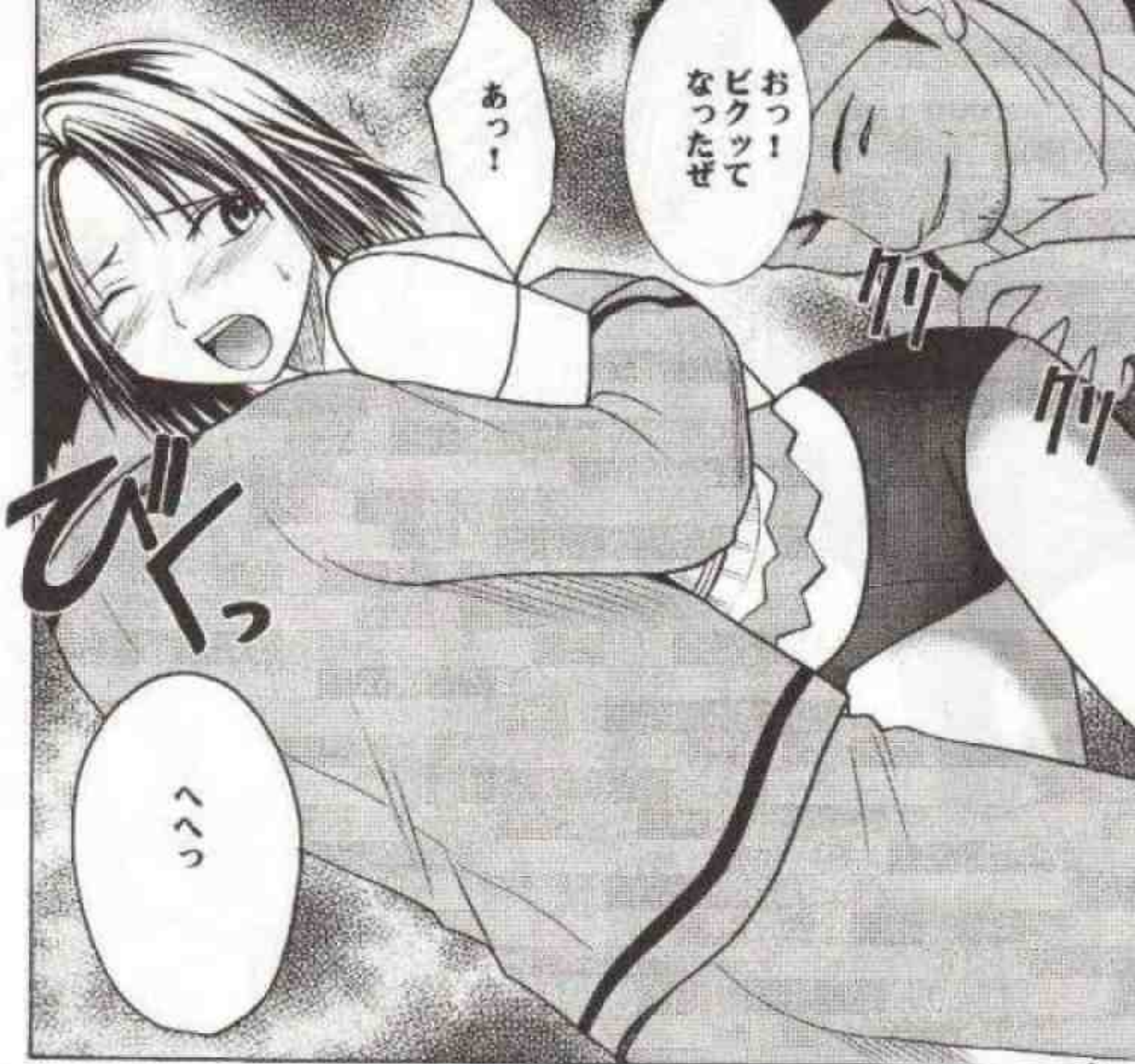
さわ  
さわ

ズツ

ズツ

ズツ

ギシ



俺らはもともと  
盗賊だったのよ

シンに荒らされた  
村や町を狙う  
専門のな

でもアンタが  
シンを倒したせいで  
オレらはもう  
ダメになった  
さっぱり仕事が  
うまくいかねえ

儲からなく  
なった分を  
アンタの体で  
返して  
もらわねえとな

ギシギシ

そ…  
そんな!

あなたたち  
最低です!



みんな本当に  
真のナギ節が  
くるのを  
楽しみにしてた！

だから私は……！

それなのに  
あなたたちは……！

もみ

へへへ  
何とでも  
いいやがれ

もみ

生ユウナ様の  
生乳を拜見して  
よろしいでしょうか？

やっ！

グ  
グ

なんで  
大召喚士さまが  
こんなHな服装  
してるんですか？

欲求不満  
ですかあ？

こんな服じゃ  
レイプされても  
文句言えませんかよ

ち…違う  
これは…

そ…うらー！

ギニ

ギシ

牛ユウナ様の  
牛乳だぜ！

やああっ！

ピヤハハハ！

あっ！

まぎんぐ……！

おやおや  
すいぶんと  
感じてますねー







や……いやー

ギョッ

こんなに濡れてるのが見つかったら……

おねがい！

ギョッ

スッ

ぢやあー



なんだかみように湿ってますねえ

やだ……いやだ……！

グッ

へへへ  
おい  
本当かよ

よし  
地面におろして  
念入りに  
チエツクしねえとな

やつー

足しっかり  
開いとけよ

んやああしー

チル

.....

んやああしー





これは  
何ですか？  
コレは？

>>>  
……

……



言えないよ……！  
二人でしてた  
からだなんて……

恥ずかしすぎる……！



ち……違う……！

やっぱり  
大召喚士さまは  
欲求不満  
なんですかねえ

それとも  
レイプされるのが  
スキなんですか？





自慰を中断され  
火照りきっていたユウナの体は  
もはや自刺ではどうすることも  
できなかつた



チルチル

ん...

んう!!

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

屈辱を味わいながらも  
すでに愛液を溢れさせていた秘裂は  
見知らぬ男たちの指を  
素直に受け入れて  
淫らな反応を示すのみだった





ああああっ！



おやおや  
どうしましたか？

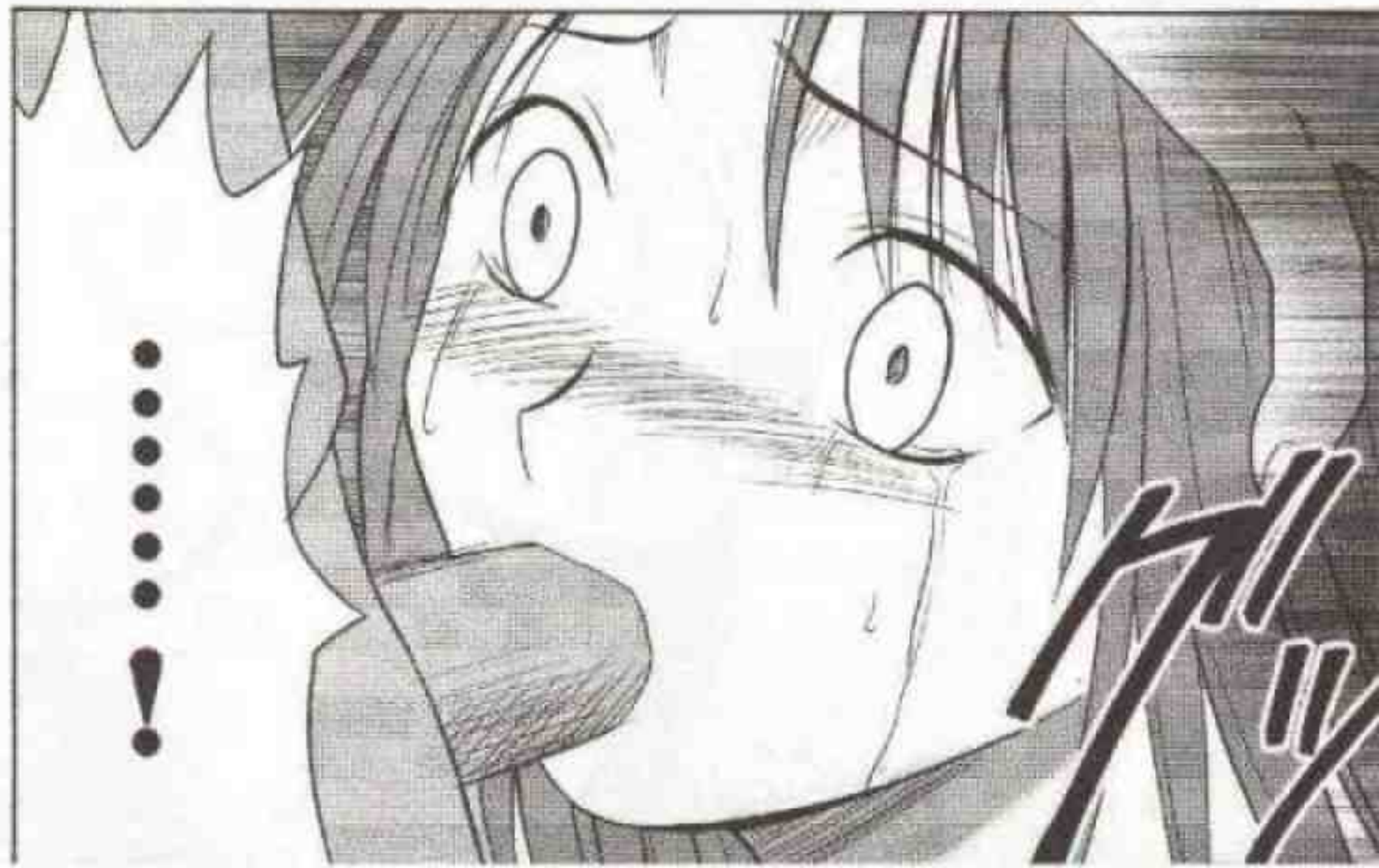
やっ！  
きっ…きっ！

ひよつとして  
もうイッチやい  
ました？

キル

キル

キル





最低十回は  
出させて  
もらいますよ

ゴッスル  
ゴッスル

グイッ

んんっ

うそっ……!

ダメッ!

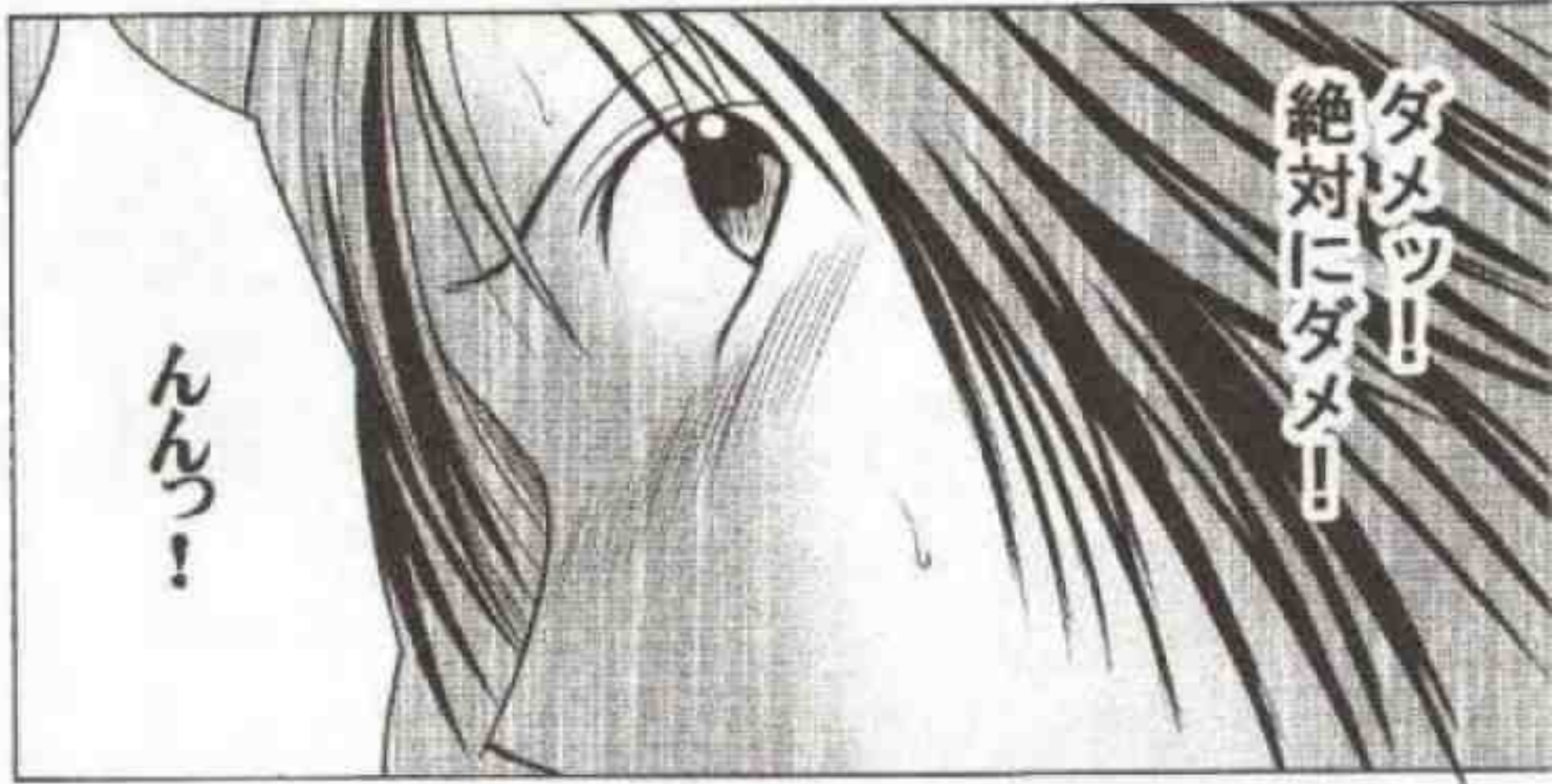
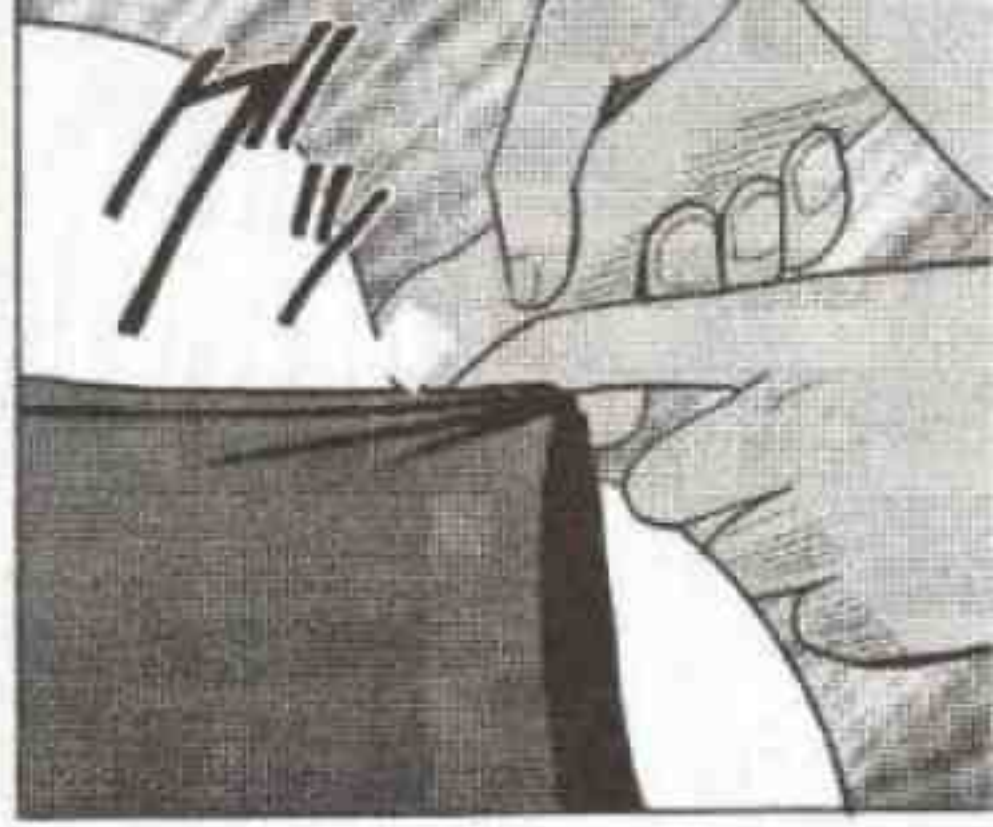
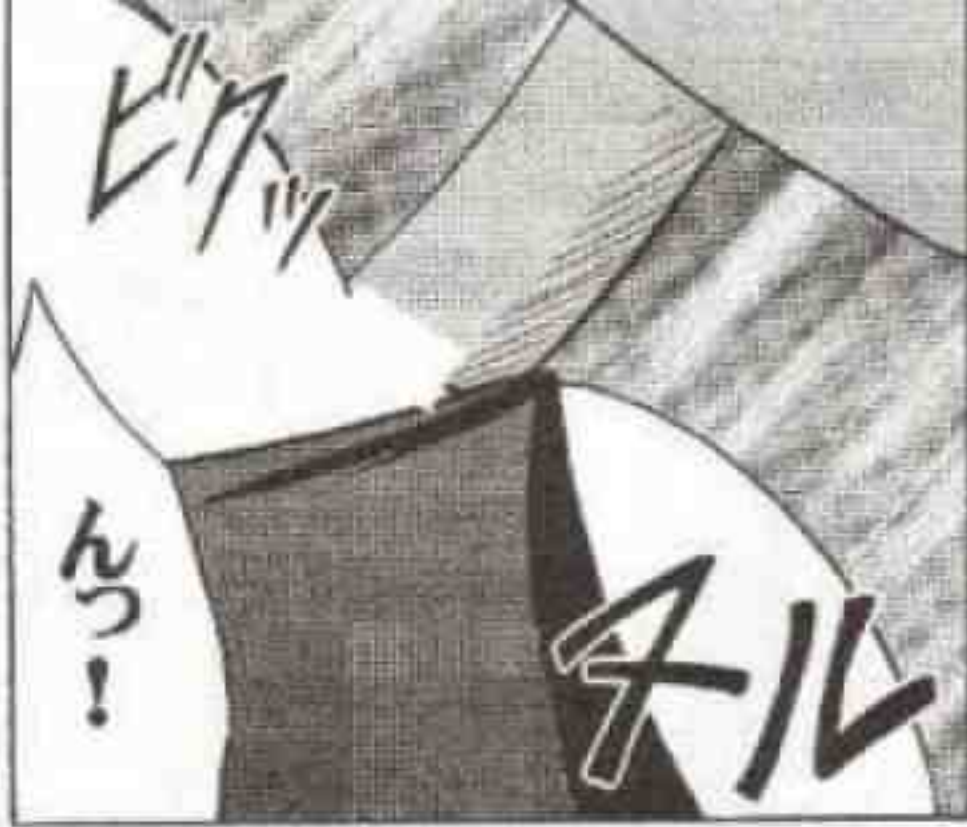
びる  
びる



んんんっ!



んんっ!



二度目のセックスが  
こんな形になる  
なんて……

そんなの  
絶対に……!







まだまだ  
終わりませんよ  
ユウナさま

おっと  
もう出ちまった



おやおや  
ユウナ様？

意外と  
気持ち  
よさそうですね

グ  
チ  
ユ

ん  
ん

グ  
チ  
ユ

ん  
ん



この場所で  
されると  
どうしても

あのときの「と」を  
思い出して……  
それだけで……！



ダメ……  
こんな人たちに  
無理やりされて  
イヤなはず  
なのに……！



びるびる

クッ

クッ

ほら、  
まだ始まった  
ばかりですよ

くやしい…  
ダメだよ私…



あっ！

ダメッ！

これ以上は  
もう…ッ！



本当はキミと  
もう一度

んっ

ニジニジで……

びる  
びる

ビクビク

くっ……

なのに……  
なんでこんな……

グチュ

グチュ

処女じゃねえ  
みてえだな

誰にやられ  
たんだ？

キツ

……！

フル

あ……あ……

びん

びん  
びん

んんん！

ティータのことを  
思い出すと余計に……

びる  
びる

ダメ……

カチユ



見ず知らずの  
最低の男に  
犯されてるのに

びるびる

あー!!

グチュ

グチュ



どうしても  
キミのことを  
思い出して  
しまつて……!

ど

ど



体が勝手に……!

ズツちぢぢー!

グチュ

グチュ

グツ

ジーン

ダメ……

イカされる……!

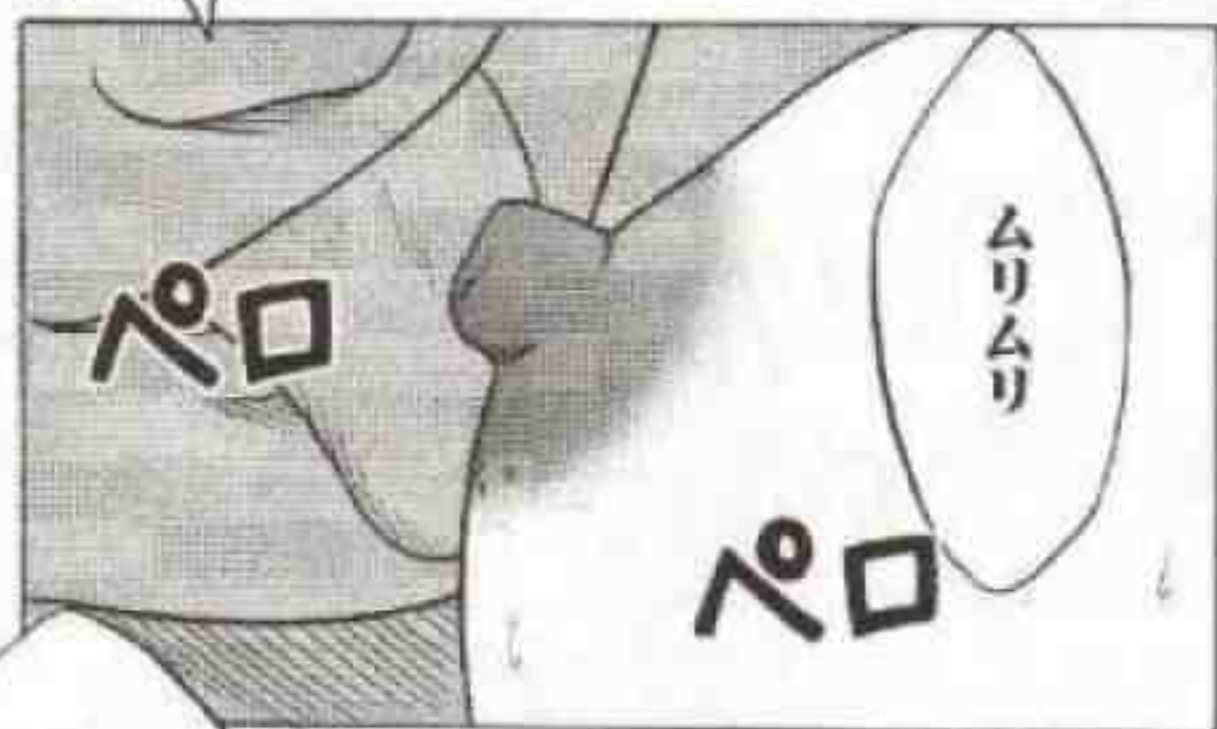




やっ!

やだっ!

びるびる



ムリムリ

ペロ

ペロ



なんだあ  
急に抵抗が  
激しくなったぞ

そうそう  
もう抵抗は  
ムダですよ

グ  
グ

グ  
グ



ああああ

びるびる

グキョ

グキョ

グキョ

これ以上思い出さ  
汚さないうで……！

グキョ



アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

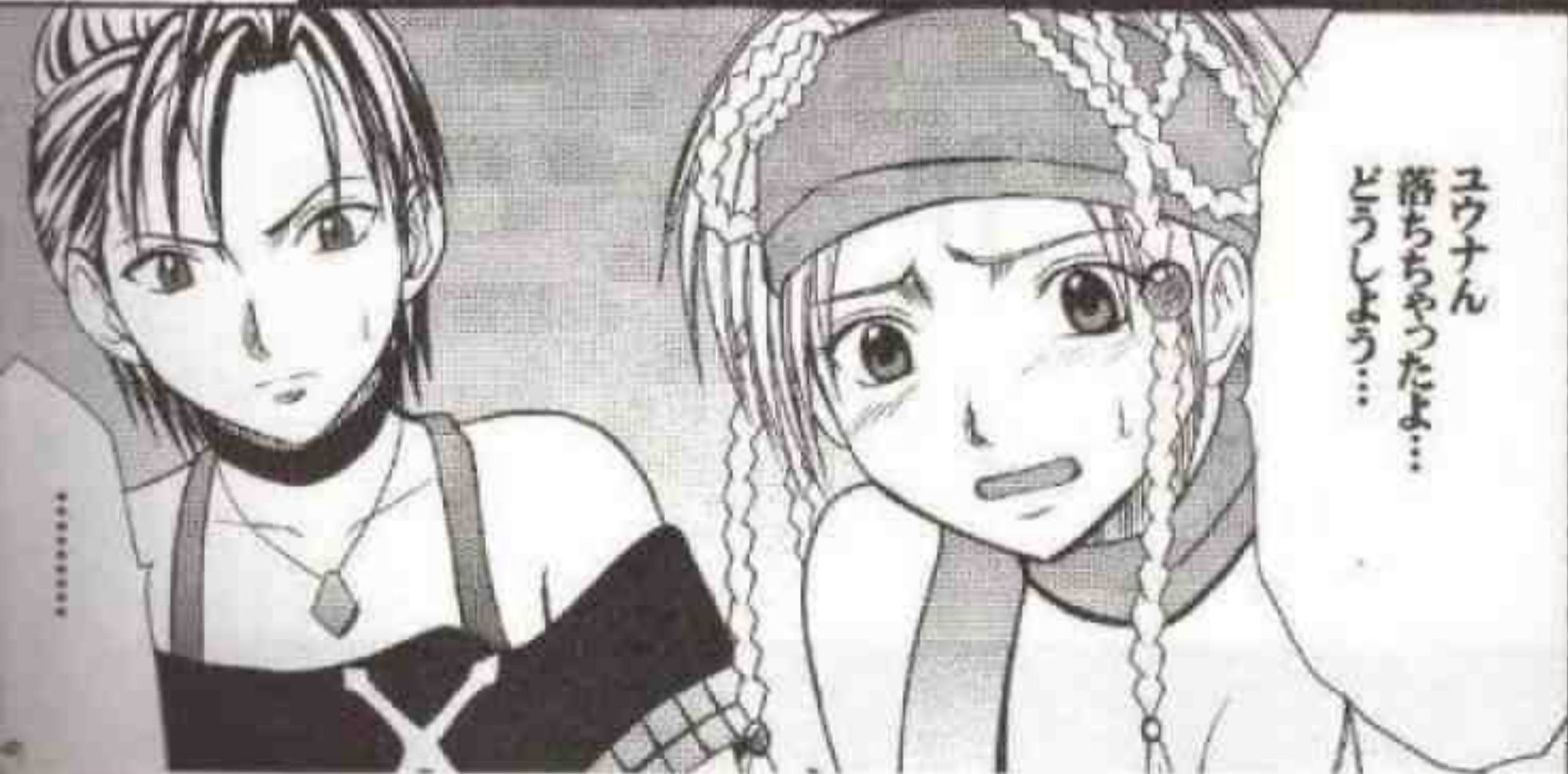
最低だ  
私……

ごめんなさい……  
テイーダ……





ユウナ!

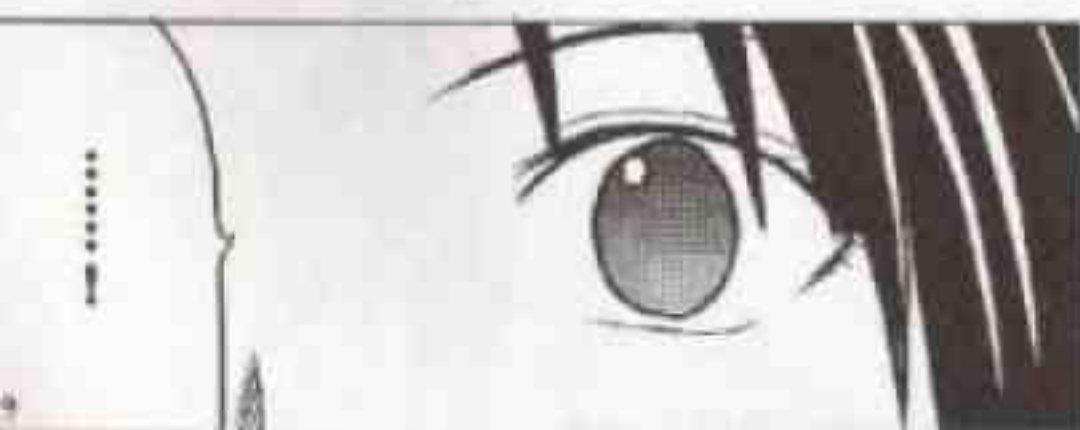
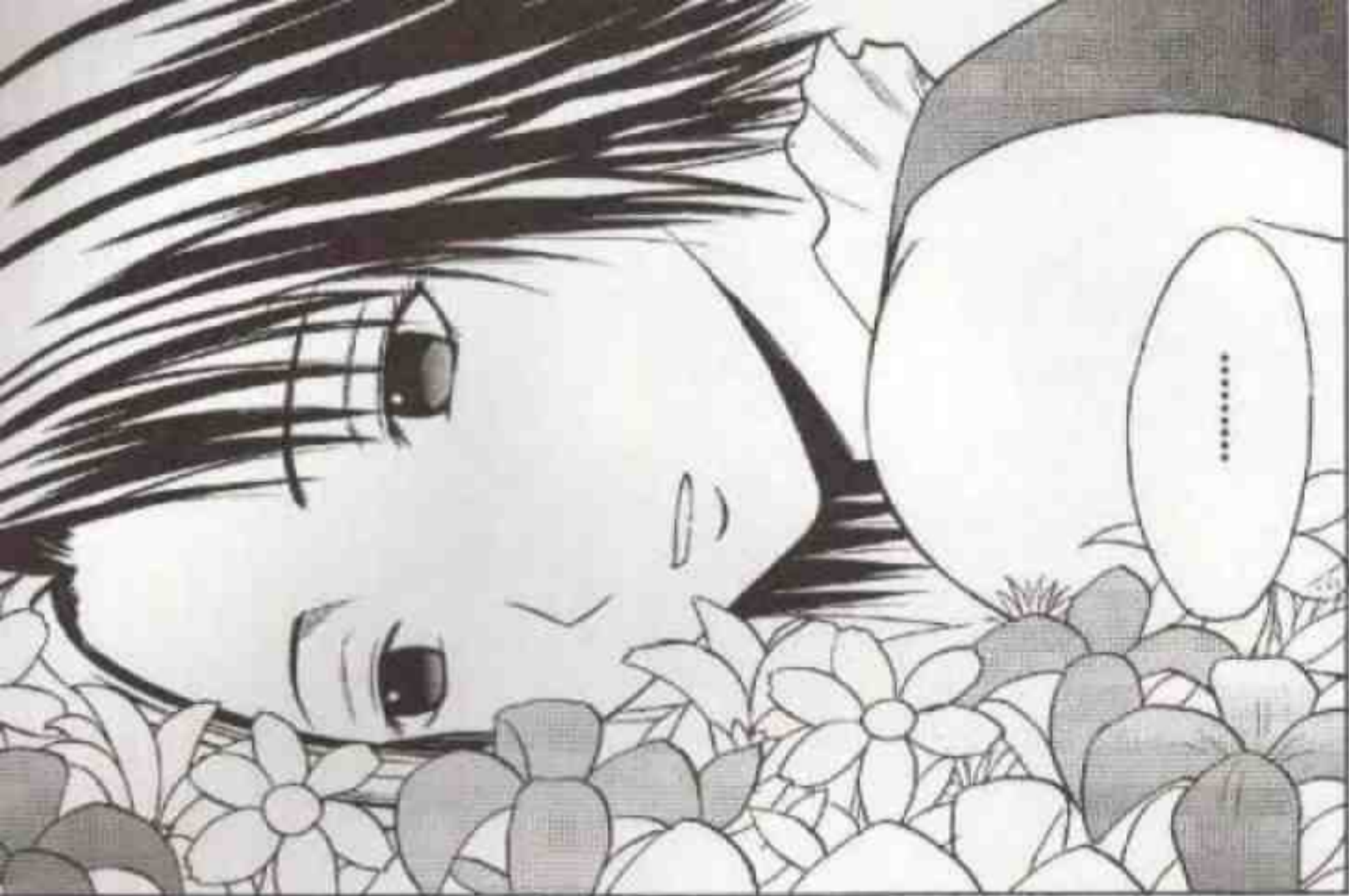


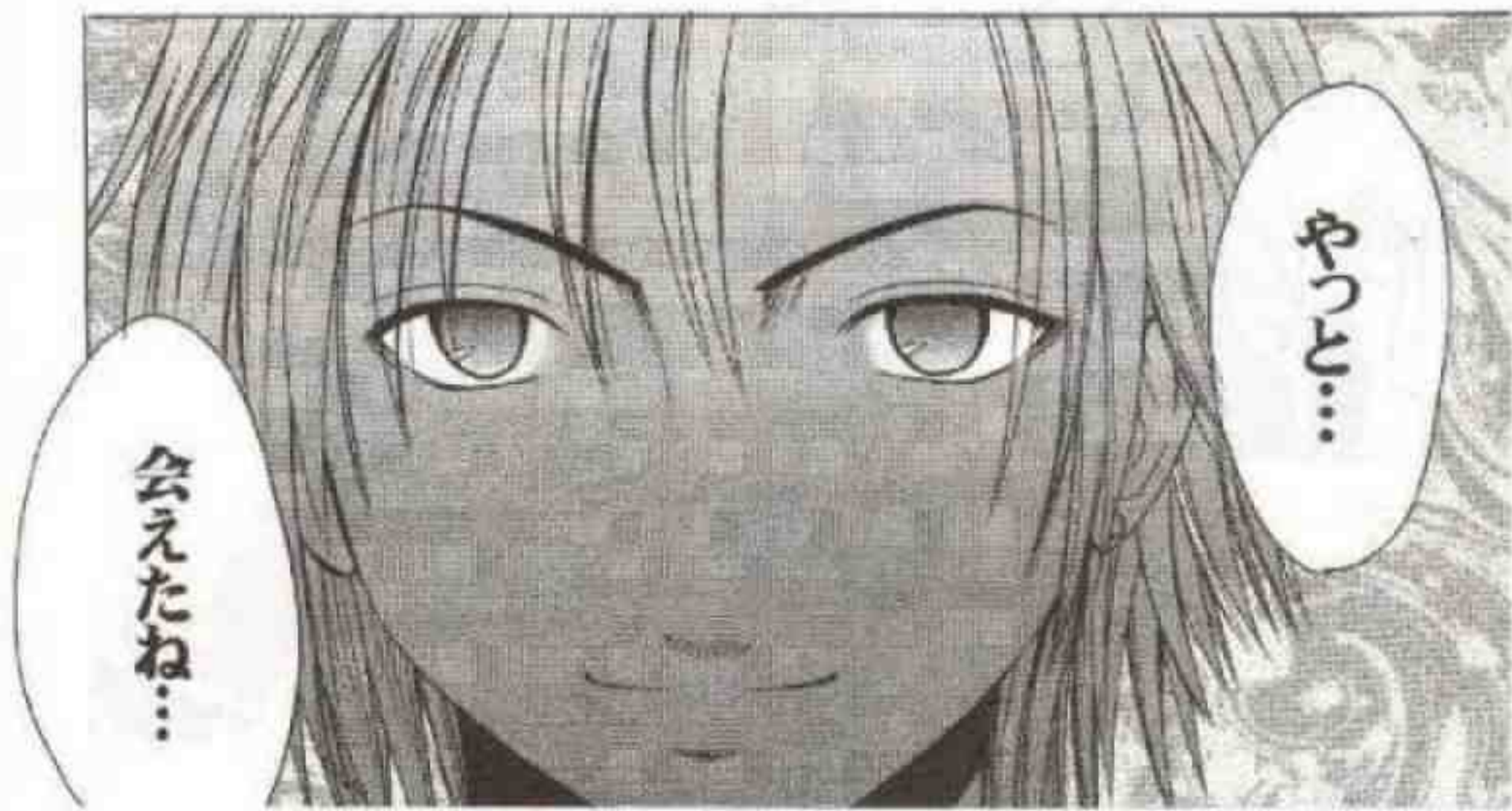
ユウナん  
落ちちゃったよ…  
どうしよう…

.....

# 千の欲望

作 / カーマイン







本当に...



キミなの？

ああ  
俺さ



シューインお



持っていたよ  
レン

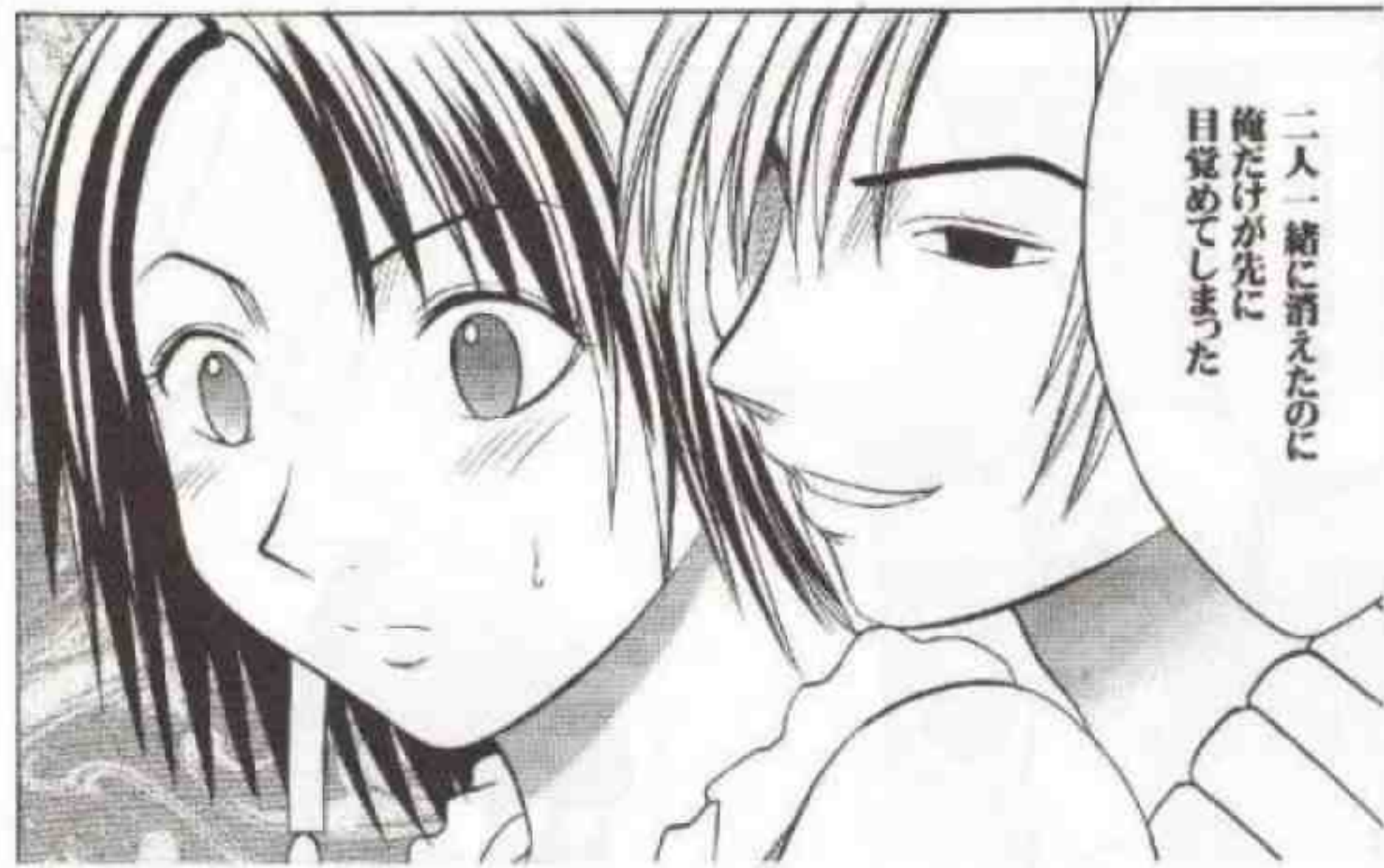


.....

アハハハハハハハ



ねえ  
レン...



二人一緒に消えたのに  
俺だけが先に  
目覚めてしまった



本当にずっと  
待っていたんだ

ズッ



おや  
どうしたんだい？

千年ぶりだから  
恥ずかしいのかい？

大丈夫だよ  
レン...

ズッ

ちゅー



何...?

...U...

...

ア  
ア  
ア

入ってくる……

あぁっ!!

あぁっ!!

誰の気持ち?

Shogun

以前にも  
このストレスを昔の  
体が……

エドワード・グレイ



レンも十年ぶり  
だろっ？

びる  
びる

また...

くちゅ  
あッ!!

体が勝手に...!!

ぐんぐん

ぐんぐん



これ以上  
気持ちが入ってくると...

あー！

びるびる

あー



私...レインじゃないのに...!

びるびる  
ヤッー!!

私...私...!



か...か...か...

びるびる



だ...  
だから私は  
レンじゃ...

ブルブル  
ブルブル



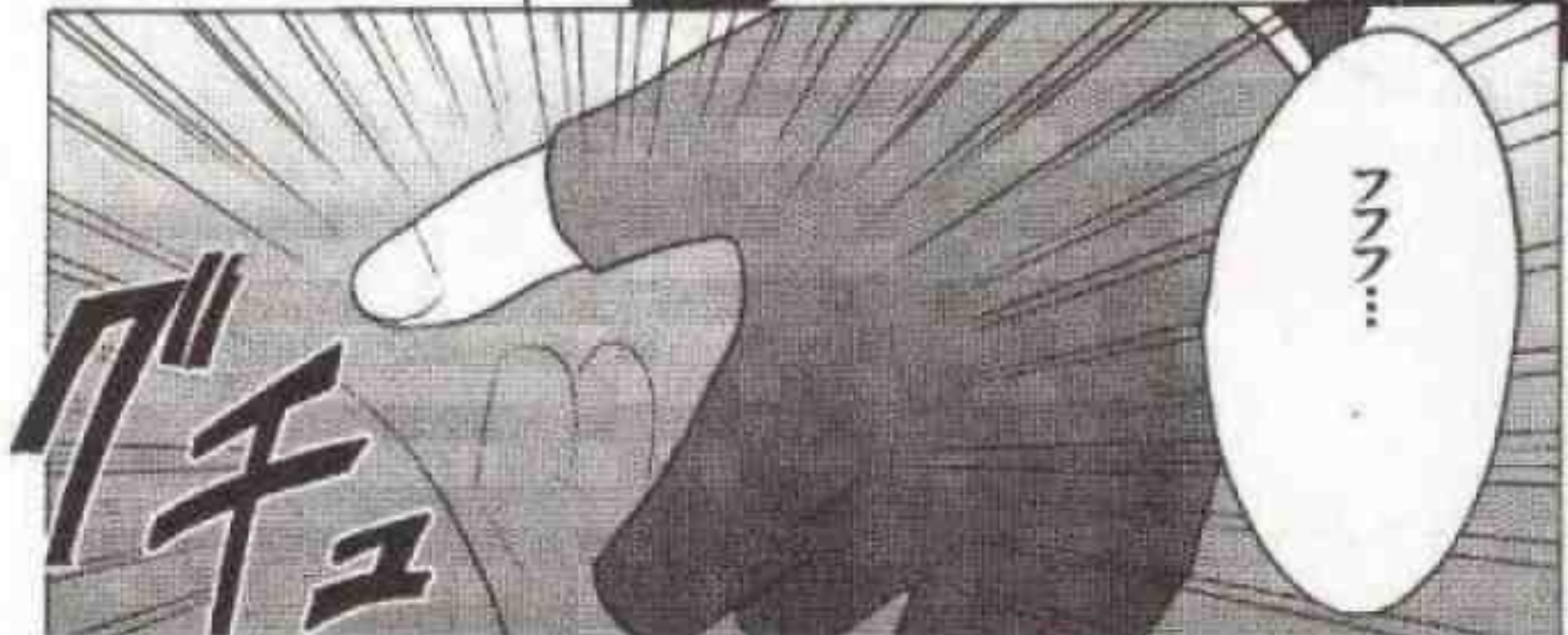
アハハハ...  
アハ...

レンは  
こうされたのが  
好きだったろう...

ブルブル  
ブルブル

グキョ

グキョ



フワ...

グキョ



おっ  
おっ

ダメ……私……

ぶる  
ぶる

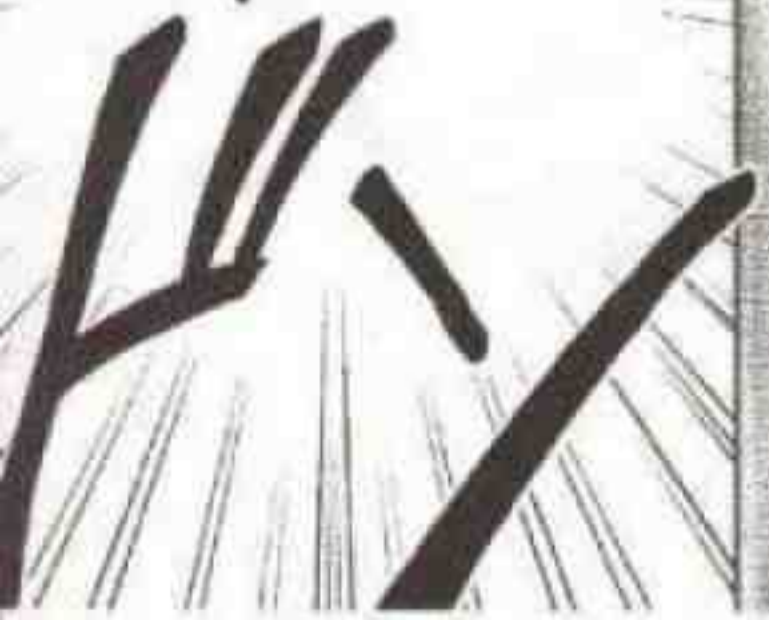
くっ……

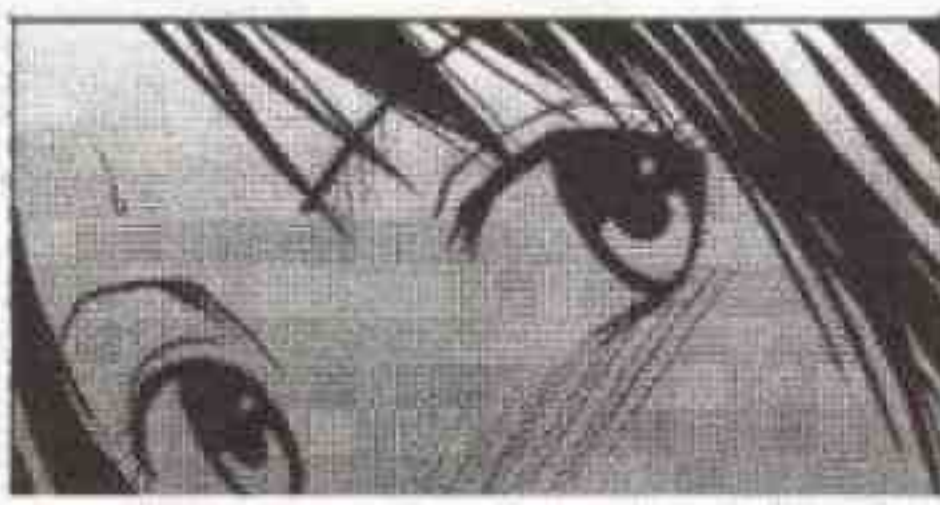
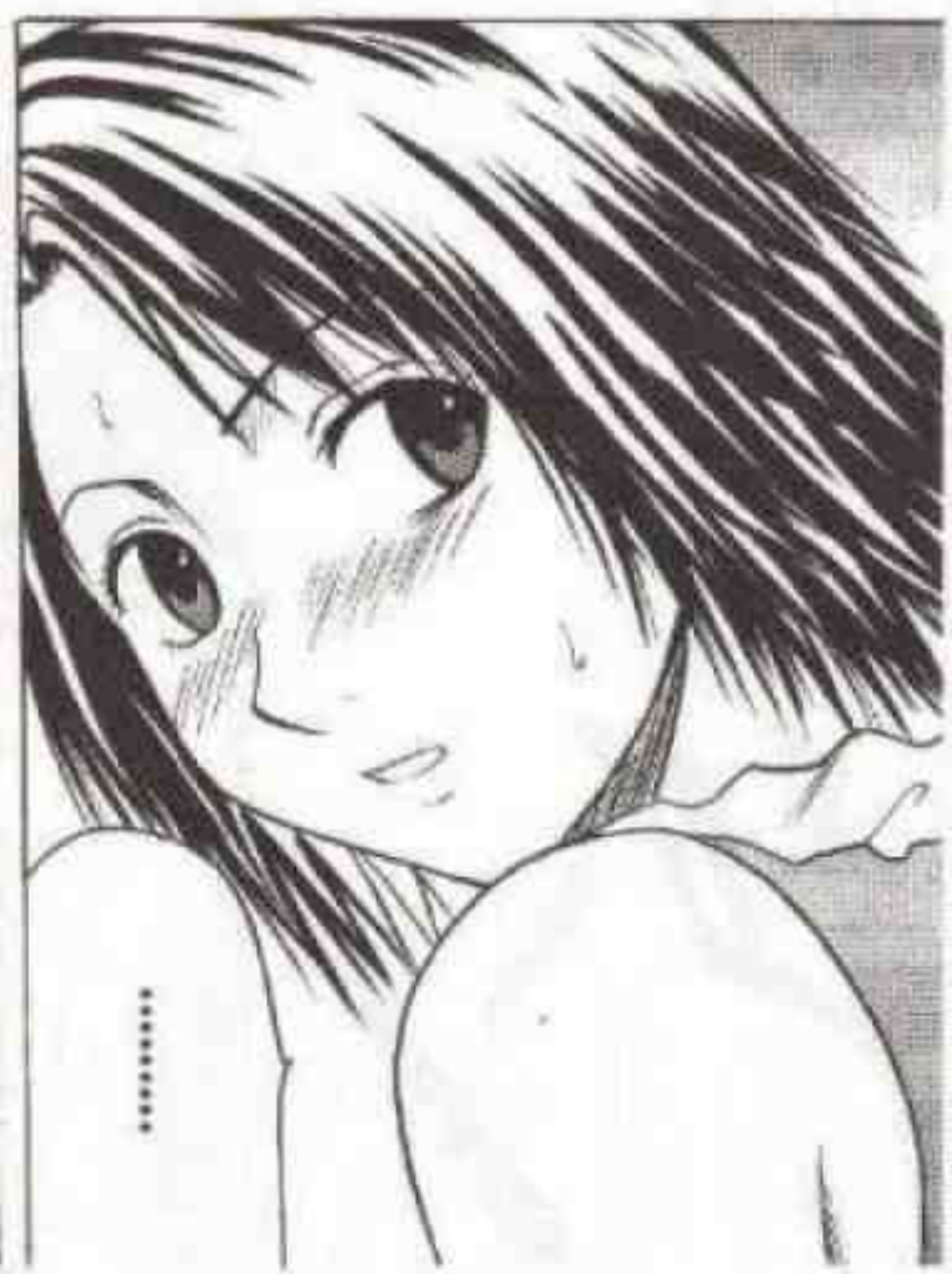
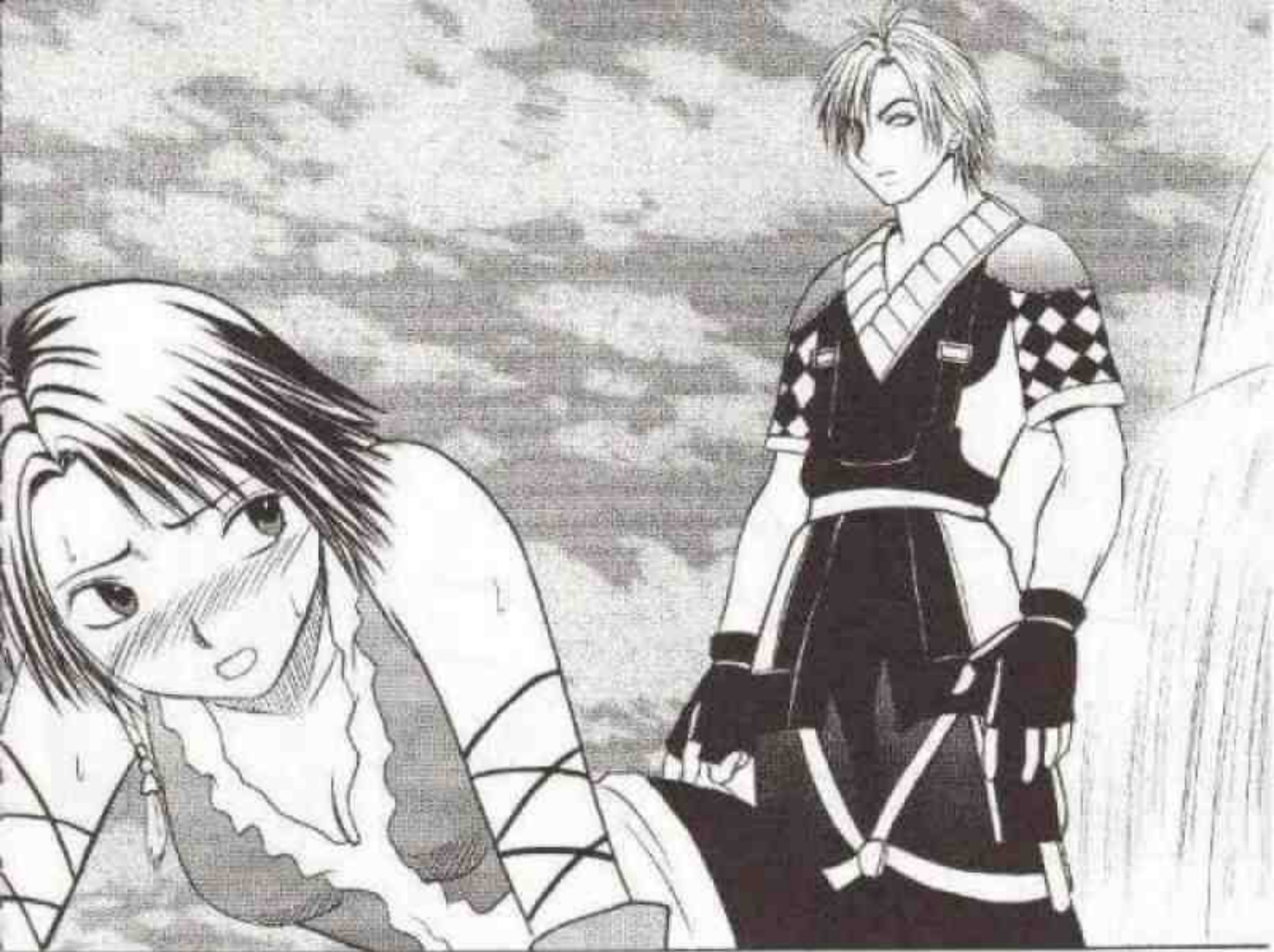
ガク  
ク

ガク  
ク

この人と同じやイヤ!

キミと一緒やなまじや  
イヤ……!





お前は  
ムンクをやる...



あー！



なぜお前が  
レンと同じ衣装を  
まとっているのかは  
知らないが

お前の体に  
千年たまったものを  
ブチまけてやろうか

びる  
びる  
びる

びる  
びる

びる  
びる  
びる

おあッ!!

おあッ!!



さあ

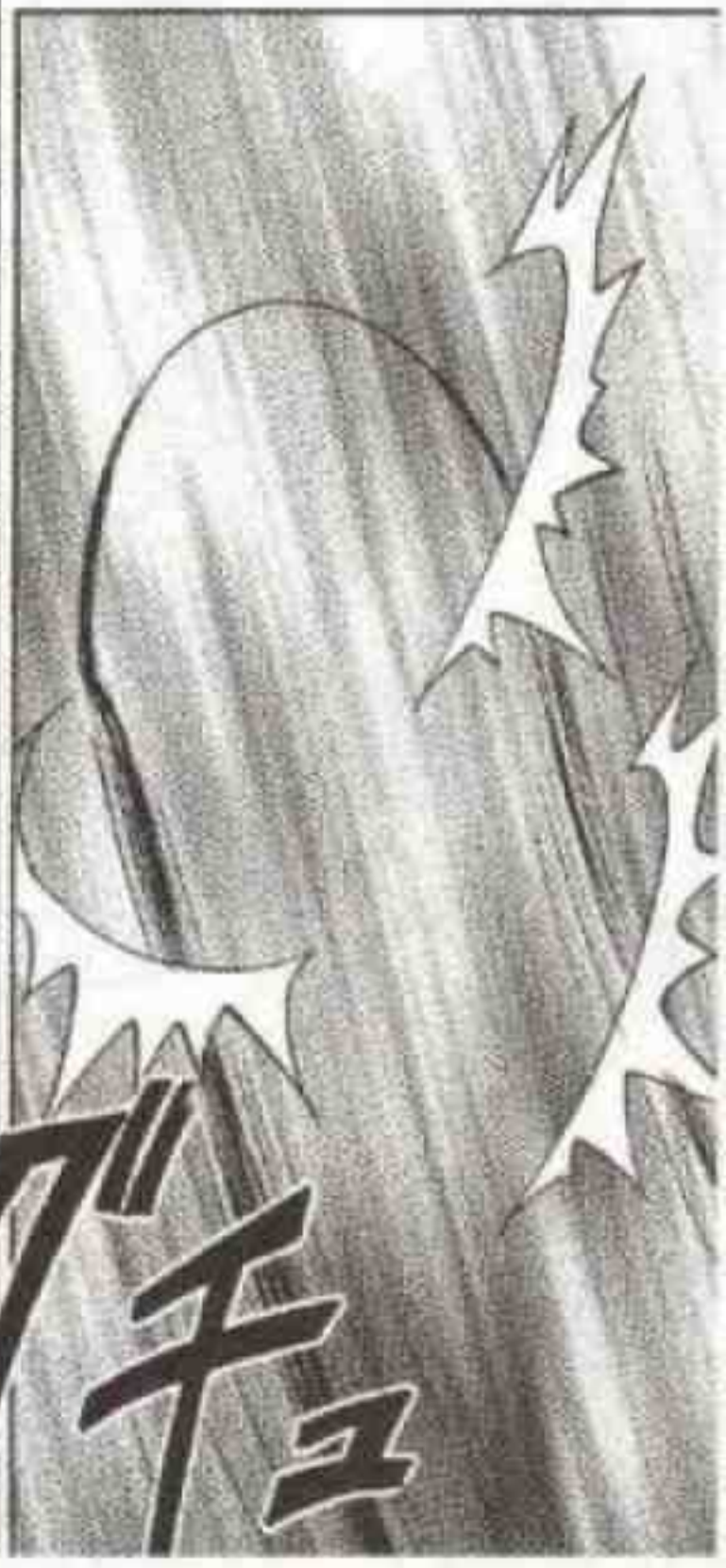


!! じりじり!!

ダメッ……!



あぁ!!



クエ

だめっ  
どんだん  
支配されていく

グチ  
グチ

グチ  
グチ

グチ  
グチ

グチ  
グチ



あー！

誰かの気持ちが入ってきて...

びる  
びる

感じたくなんかないのに...



グチ  
グチ

びる  
びる



...うわあ...

うわあ  
うわあ

ズズ

ズ

ズ

あああ  
あああ！





ダメだ  
もうやめない

お前が  
悪いんだ



こゝろこんな人を三瞬でも  
キミと見間違えたなんて…

やあああ  
あつ！

ズッ  
ズッ



んっ！

グチュ

んんっ！

グチュ

ダメッ…  
もう止まらな…！

このドレスが  
いけないの…？

おねがい…  
もう快感を  
強制するのはやめて…！



ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ



クリムゾンコミックス

A43-1

マカラーニャの泉でティーダを思い出し  
自慰にふけるユウナ。そこをならず者に見つかり  
無防備なユウナは縛られ、自らの手で火照らせ  
中途半端な状態になっていた体を弄ばれる。  
思い出の場所で汚される屈辱を味わいながらも、  
絶頂に達するユウナ。

FOR ADULT ONLY